

長き髪を白く染めしめて
髪を剃りしめて
髪を剃りしめて
髪を剃りしめて
髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

髪を剃りしめて

くまの

月夜

月夜にふりそよぐ風はさかたに吹くをきくは
さかたに吹くをきくはさかたに吹くをきくは

一

あやめはさかたに吹くをきくはさかたに吹くをきくは

一

さかたに吹くをきくはさかたに吹くをきくは

一

さかたに吹くをきくはさかたに吹くをきくは

さかたに吹くをきくはさかたに吹くをきくは

五箇年分年

一、
二、
三、
四、
五、

一、
二、
三、
四、
五、

六、

七、

八、

一、
二、
三、
四、
五、

一、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

此の所へ来ては、何となく、
おどろき、おどろき、

一、二、三、

一、二、三、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

一、二、三、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

一、二、三、

おどろき、おどろき、

馬路園少志

樹石虎標之石表石立

四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

聖賢有言方寸之間

古之所謂天下之樂者

知三原虎山申年一月一日

臨邑縣志卷之四
通志

通に所いすは、

此香ハウシロイタリヤクニナラズ

一、此乃
二、此乃

通方心悟 玉子法 抄卷之八

中區及外區之面積

江表壯何如。三原云。四處山。倒。台。下。風。和。利。

以爲常科

卷之六

王伯

竹書紀年
卷之四

方山先生
 法事
 為上

五

市川右太衛門

骨

五保二升年四月廿五日
定中此後改作西曆

學子問辨

三才圖會

五穀

陳中

修進し徳を以て人となす

一、
一、

古
一

[illegible]

一、
一、
一、

[illegible]

乃以爲此吊可也

74
A
7

印

一

五經

沈氏

[illegible]

家

山崎下内たり師事ある事

先づ其の長を信じて

四角の面を

り

一日の師に於ては、其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

り

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

り

其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。其の言を聴き、其の行を法とす。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

三

四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

五

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

四

那

物之長短以和爲貴多寡以均爲宜
德者本也財者末也外本而內末則

此句乃以所獲之金一萬兩為之
 此句乃以所獲之金一萬兩為之

[illegible][illegible]

此乃古詩一首
字跡模糊，難以辨認

[illegible]

吾國書法中一極也。其筆力雄健，其神韻飄逸，其氣貫注，其神飛揚，其意蘊藉，其情婉轉，其理深邃，其趣盎然，其味悠長，其韻無窮，其妙不可言。

VP

現に金に抽任し、西河に任ぜられた。
 而して、
 西河に任ぜられた。

山崎 寛政 乙未 正月 廿五日
 山崎 寛政 乙未 正月 廿五日
 山崎 寛政 乙未 正月 廿五日
 山崎 寛政 乙未 正月 廿五日

音

[illegible]

一、依國情中庚午年刻要云云

[illegible]

其有明水。揚水。乃。年。道。有。一。山。水。如。
 下。玉。石。如。此。
 乃。原。山。水。如。此。乃。原。山。水。如。此。

[illegible]